

令和2年度旭町小・豊溪中の小中一貫教育課題改善カリキュラム（小学校国語科・中学校国語科）

自ら表現し合い、学びを深めていく国語科の指導の	低学年	<p>国語 育てたい児童像 国語科の学習を通して、使える言葉をふやし進んで自分の思いを表現しようとする児童</p> <p>① 国語の基礎を身に付ける。(ひらがな、カタカナ、漢字、語句) ② テーマに沿って書いたり、話したりする機会を継続して設定する。 ③ 日々の読書活動を大切にすることで、よい文章に触れる機会を増やす。「読み聞かせ」も随時行い、豊かな表現を身に付けるための手立てとする。 ④ 毎日の家庭学習に音読を取り入れ、様々な言葉に触れたり、読み方の工夫をしたりする場とする。</p>
	中学年	<p>国語 育てたい児童像 友達との交流を通して、自分の考えを深めて表現する児童</p> <p>① 自分の経験や思いを表現する時間を取り入れるとともに、表現したものを交流する場も設定する。 ② 朝読書や読書旬間など、日々の読書活動を大切にすることで、優れた表現に触れたり、新たな語彙を獲得したりし、自分の考えをもつための手立てとする。 ③ 継続して日記を書き、モデルとなる表現を取り上げ交流することで、自分の表現に活かすことができるようにする。</p>
	高学年	<p>国語 育てたい児童像 考えたことを発表し合ったり、書いたものについて助言し合ったりする中で、自分の思いを広げたり深めたりすることができる児童</p> <p>① 話題を決めて話したり書いたりする時間を確保し、話す聞く・書く力を高めるとともに、交流に重点をおく。 ② 日記・作文に継続的に取り組み、書く力を高める。 ③ 読書・音読・暗唱を継続的に取り組み、生きてはたらく言葉を増やす。</p>
自分の考えを論理的（思考力・判断力）に表現する力の育成	一学年	<p>国語 育てたい生徒像</p> <p>話す聞く 日常生活に関わることについて構成を工夫して話し、話し手の意図を考えて聞き、話題や方向を捉えて話し合い、考えをまとめる生徒 （スピーチ・討論ゲーム・即興劇・編集会議）</p> <p>書く 日常生活に関わることについて構成を考えて書き、考えをまとめる生徒 （レポート・リーフレット・鑑賞文・意見文）</p> <p>読む 内容や要旨を的確にとらえ、読書を通してものの見方や考え方を広げる生徒 （説明文・随想・物語・詩・小説）</p> <p>言語文化 文語のきまりや訓読の仕方、古典の世界や種類を知り、古文や漢文を音読してリズムを味わう生徒 （竹取物語・故事成語・漢文の読み方）</p>
	二学年	<p>国語 育てたい生徒像</p> <p>話す聞く 社会生活に関わることについて考えの違いを踏まえて話し、考えを比べつつ聞き、相手の立場を尊重して話し合っって考えを広げる生徒 （プレゼンテーション・パネルディスカッション ほか）</p> <p>書く 社会生活に関わることについて構成を工夫して書き、考えを広げる生徒 （主張文・手紙文・地域情報誌・創作文ほか）</p> <p>読む 文章の内容や表現の仕方に注意して読み、広い範囲から情報を集め効果的に活用し、読書を生活に役立てる生徒（評論・談話・報告・小説・詩・短歌）</p> <p>言語文化 作品を朗読して、古典に表れたものの見方や考え方、登場人物や作者の思いなどを想像する生徒 （枕草子・徒然草・平家物語・漢詩）</p>
	三学年	<p>国語 育てたい生徒像</p> <p>話す聞く 社会生活に関わることについて相手や場に応じて話し、表現の工夫を評価して聞き、課題の解決に向けて話し合っって考えを深める生徒 （企画会議・句会・ワールドカフェ ほか）</p> <p>書く 社会生活に関わることについて論理の展開を工夫して書き、考えを深める生徒 （小論文・批評文・名言集・漢字一字で表現）</p> <p>読む 文章の内容や表現の仕方を評価して読み、読書を通して自己を向上させる生徒 （評論・論説・報道・小説・詩・俳句）</p> <p>言語文化 歴史的背景に注意して読んで古典の世界に親しみ、一節を引用して簡単な文章を書く生徒 （おくのほそ道・論語・和歌の世界）</p>

自ら表現し合い、学びを深めていく社会科の指導の工夫	低学年	
	中学年	<p>社会 育てたい児童像</p> <p>① 地図や資料に親しむ。 ・教科書の地図やグラフ、写真を中心に、身近に感じる資料を提示したり、白地図を色分けするなどの作業を通して、興味・関心を引き出す。</p> <p>② 自分の考えをもち、発表する。 ・地図や写真など資料から分かったことをノートに書き、自分の意見を発表する経験を増やしていく。</p>
	高学年	<p>社会 育てたい児童像</p> <p>① 地図や資料から必要な情報を読み取る。 ・学習内容をまとめる活動を通して、大事な部分や伝えたい事柄など、必要となる情報を見つけ、取り出すことに慣れさせる。</p> <p>② 意見の違いに気付き、認める。 ・同じ資料を見ても、注目する部分、伝えたい部分など、見方の違いで意見が変わってくることに気付かせ、多様な意見があることを認める下地を育てていく。</p>
自分の考えを論理的（思考力・判断力）に表現する力の育成	一学年	<p>社会 育てたい生徒像</p> <p>① 地図や資料を正確に読み取り、まとめることができる。（世界地理・歴史前半） ・教科書や地図帳の世界地図や資料から、国・地域・世界の特色を読み取り、白地図にまとめる力を育成する。 ・各資料からそれぞれの特色を読み取り、時代の理解を深める力を育成する。</p> <p>② 地図や資料から読み取ったことをまとめ、集団で内容を高めることができる。 ・個人で読み取ったものをまとめる。 ・グループで意見を出し合い、グループの意見をまとめる。 ・グループから全体意見をまとめる。</p>
	二学年	<p>社会 育てたい生徒像</p> <p>① 1年生の①・②を日本地理・歴史後半でも継続する。</p> <p>② 世界の中の日本、他の地域や時代との比較など、多角的・多面的に地図や資料を読み取ることができる。</p> <p>③ 他者の意見を批判し、参考にして自分の考えを深めることができる。 ・自分の意見の根拠となる資料を明示し合い、他者の意見を取り入れる。</p>
	三学年	<p>社会 育てたい生徒像</p> <p>公民的分野の内容を、地理や歴史の視点も入れて深く考察できる。</p> <p>① 資料を選択・活用し、自分の意見をまとめ、表現できる。 ・複数の資料を使って意見を構築する。</p> <p>② 事象の長短、他者の意見の参考となることを、グループ学習で高め、自分の意見を再構築することができる。</p>

自ら表現し合い、学びを深めていく算数科の指導の工夫	低学年	<p>算数 育てたい児童像</p> <p>文章題をよく読み、正しく立式をし、計算ができる児童を育成する。TTと一人一人の理解をつかみ必要な支援を工夫する。</p> <p>① 文章題をじっくりと読み、立式の手がかりとなる言葉をきちんととらえられるようにする。</p> <p>② 計算練習を繰り返し、素早い計算ができるようにする。</p> <p>③ 理解に時間がかかる児童には、その実態に合わせて既習学習の復習や具体物・半具体物を使うなど、TTと支援を工夫する。</p>
	中学年	<p>算数 育てたい児童像</p> <p>文章題をよく読み、正しく立式をし、根拠を説明したり、計算したりできる児童を育成する。ペア学習やグループ学習を取り入れ、児童が自ら学ぶ時間を作り、理解を深める。</p> <p>① 児童の実態に合った具体物やテープ図を使い、場面を正しくイメージさせ、立式させる。</p> <p>② 計算練習を繰り返し、計算力をつけさせる。</p> <p>③ 算数的活動を取り入れ、数量の量感を身に付けさせる。</p>
	高学年	<p>算数 育てたい児童像</p> <p>文章題をよく読み、正しく立式をし、根拠を説明したり、計算したりできる児童を育成する。ペア学習やグループ学習を取り入れ、児童が自ら学ぶ時間を作り、理解を深める。</p> <p>① 少人数指導を取り入れ、児童の実態に合った数直線を使い、場面を正しくイメージさせ、立式させる。</p> <p>② 計算練習を繰り返したり、計算の工夫を用いたりして、素早く計算できるようにする。</p> <p>③ 数学的活動を取り入れ、数量の量感を身に付けさせる。</p>
自分の考えを論理的（思考力・判断力）に表現する力の育成	一学年	<p>数学 育てたい生徒像</p> <p>事象を数理的に考察し、言葉や式、表やグラフを用いて分かりやすく表現できる。</p> <p>① 少人数授業（10～15人）を活かし、正誤を気にせずに自分の考えを発表できる雰囲気づくりに配慮する。</p> <p>② 教科書の「みんなで話し合ってみよう」「自分の言葉で伝えよう」「自分の考えをまとめよう」では、ヒントも与えつつ、時間をとり丁寧に扱う。</p> <p>③ 他人の発表を良く聞き理解させ「誤答」を大切に扱う取組を継続する。</p> <p>④ 「数と式」では、文字を用いて身の回りの数量やその関係を式で表現したり、その意味を読み取り、自分なりに説明できる。</p> <p>⑤ 放課後、理解の遅い生徒、質問がある生徒を対象にK中B等を利用し、補習を行う。</p>
	一・二学年	<p>数学 育てたい生徒像</p> <p>事象を数理的に考察し、言葉や式、表やグラフを用いて分かりやすく表現できる。また、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できる。</p> <p>① 教科書の「みんなで話し合ってみよう」「自分の言葉で伝えよう」「自分の考えをまとめよう」では、ヒントも与えつつ、時間をとり丁寧に扱う。</p> <p>② 他人の発表を良く聞き理解させ「誤答」を大切に扱う取組を継続する。</p> <p>③ 「図形」では、直観的な見方を深めるとともに、根拠を明らかにして筋道を立てて説明できる。</p> <p>④ 放課後、理解の遅い生徒・質問がある生徒を対象にK中B等を利用し、補習を行う。</p>
	三学年	<p>数学 育てたい生徒像</p> <p>事象を数理的に考察し、言葉や式、表やグラフを用いて分かりやすく表現できる。また、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを進んで活用し思考・判断したりしようとする。</p> <p>① 教科書の「みんなで話し合ってみよう」「自分の言葉で伝えよう」「自分の考えをまとめよう」では、ヒントも与えつつ、時間をとり丁寧に扱う。</p> <p>② 他人の発表を良く聞き理解させ「誤答」を大切に扱う取組を継続して行う。</p> <p>③ 「関数」では、身の回りで起こることを関数としてとらえ、表・式・グラフを用いて特徴を調べ説明できる。</p> <p>④ 「図形」では、見通しをもって論理的に考察し、表現できる。</p> <p>⑤ 放課後、理解の遅い生徒、質問がある生徒を対象にK中B等を利用し、補習を行う。</p>

自ら表現し合い、学びを深めていく理科の指導の工夫	低学年	<p>理科 育てたい児童像</p> <p>第3学年 自然の事物・現象について追求する中で、差異点や共通点を基に、問題を見し出し、表現することができる。授業では、比較しながら調べる活動に重点をおく。問題を見い出す活動、問題を発想する学習の時間を確保する。また、観察や実験の記録の取り方など今後の理科学習の基礎となる手順が身に付くように指導する。</p> <p>第4学年 自然の事物・事象について追求する中で、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を考えることができる。授業では、関係づけて調べる活動に重点をおく。予想や仮説を発想し、表現する学習の時間を確保する。</p>
	中学年	<p>理科 育てたい児童像</p> <p>第3学年 自然の事物・現象について追求する中で、差異点や共通点を基に、問題を見し出し、表現することができる。授業では、比較しながら調べる活動に重点をおく。問題を見い出す活動、問題を発想する学習の時間を確保する。また、観察や実験の記録の取り方など今後の理科学習の基礎となる手順が身に付くように指導する。</p> <p>第4学年 自然の事物・事象について追求する中で、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を考えることができる。授業では、関係づけて調べる活動に重点をおく。予想や仮説を発想し、表現する学習の時間を確保する。</p>
	高学年	<p>理科 育てたい児童像</p> <p>第5学年 自然の事物・現象について追求する中で、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現することができる。授業では条件を制御しながら調べる活動に重点をおく。実験前の場面で児童らが解決方法を発想する時間を確保する。</p> <p>第6学年 自然の事物・現象について追求する中で、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。授業では多面的に調べる活動に重点をおく。考察の場面で自分の予想や実験結果、他班の考えや結果、複数のデータをもとに考えられるようにする。</p>
自分の考えを論理的（思考力・判断力）に表現する力の育成	一学年	<p>理科 育てたい生徒像</p> <p>自ら考え授業を楽しみ、自然を探究する気持ちを持ち、理科が大好きな生徒に育てるために。</p> <p>(1)自分の考えを他者に分かるように説明できる。 (2)レポートに結果までの過程を分かりやすく書くことができる。</p> <p>(3)教師の指示に素直に従う。 (4)宿題等の提出物を必ず出す習慣が身に付いている。 (5)安全に実験ができる。</p>
	二学年	<p>理科 育てたい生徒像</p> <p>自ら考え授業を楽しみ自然を探究する気持ちを持ち理科が好きな生徒に育てるために、</p> <p>(1)討論を通し自分の考えを他者に分かるように説明できる。</p> <p>(2)レポートに結果までの過程を分かりやすく書いたり、パワーポイントを作成したりできる。</p> <p>(3)実験の予想を図や科学理論を基にレポート化できる。</p> <p>仮説実験授業①課題提示 ②予想・討論 ③予想変更実験 ④事実から仮説の構築</p> <p>探求実験授業①自分達で選んだ自然事象の研究を文化発表会で演示したりパワーポイントで発表したりする。②1年間の成果をレポートやパワーポイントで整理し発表掲示する。</p> <p>(4)安全に実験ができる。</p> <p>(5)静かに授業を受けることができるようにする。(6)授業準備をして休み時間に入れるようにする。</p>
	三学年	<p>理科 育てたい生徒像</p> <p>自ら考え授業を楽しみ自然を探究する気持ちを持ち、自ら調べたことをまとめる力、他者に伝える能力を育て、理科が好きな生徒に育てる。自分の進路に向けて自ら学習する生徒を育てる。</p> <p>(1)討論を通し仮説を立て他者に分かるように説明できる。</p> <p>(2)レポートに結果までの過程を分かりやすく書いたり、レポートやパワーポイントを作成したりできる。</p> <p>(3)興味・関心を基に演習実験し、レポートやパワーポイントを作成したり発表したりできる。</p> <p>(4)K中BK中ゼミを通し自ら学ぶ力を育てる。</p> <p>仮説実験授業 ①課題提示 ②予想・討論 ③予想変更実験 ④事実から仮説の構築</p> <p>(5)安全に実験できる。</p> <p>探究実験授業 ①自分達で選んだ自然事象の研究を文化発表会で演示したりやパワーポイントで発表したりする。</p> <p>②1年間の成果をレポートやパワーポイントで整理し発表・掲示する。</p> <p>K中BK中ゼミ①自学自習の力を放課後2時間年400時間以上確保する。 ②疑問が出るまで学習し、それを解決するために教師に尋ねる力を育てる。</p>

自ら表現し合い、学びを深めていく音楽科の指導の工夫	低学年	<p>音楽 育てたい児童像</p> <p>① 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり楽曲の気分を感じ取ったりして、思いをもって歌ったり演奏したりする。 ・教科書の挿絵や関連する写真、映像などを手掛かりに楽曲のイメージを膨らませるようにする。</p> <p>② 互いの歌声や楽器の音、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する。 ・ふし遊び、音遊び、リズム遊びなどをリズムに乗って、リレー方式で全員に演奏させ、一人で表現したり、互いに聴き合ったりする場を設ける。</p>
	中学年	<p>音楽 育てたい児童像</p> <p>① 歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや考えをもって歌ったり演奏したりする。 ・鑑賞との関連を図りながら、和楽器（箏、和太鼓）、わらべうた、民謡、祭り囃子などの「我が国の音楽」の指導を充実させる。</p> <p>② 互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする。 ・一人で歌ったり演奏したりする活動を多く取り入れ、互いに認め合う雰囲気を作り、声や音が重なって響き合う美しさやおもしろさを実感させる。</p>
	高学年	<p>音楽 育てたい児童像</p> <p>① 音楽の構造と曲想との関わりに気付き、それらのよさを生かした表現を工夫し、思いや考えをもって、歌ったり演奏したりする。 ・見通しをもちながら主体的に学習に取り組む態度と、友達の表現のよさを受けとめ、互いに共有し合う中で、安心して自分を表現できる雰囲気を大切に育てる。</p> <p>② 各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする。 ・様々な学校行事を通して、学年の友達と協働して創り上げた音楽のすばらしさやおもしろさ、美しさを十分実感させる。</p>
自分の考えを論理的（思考力・判断力）に表現する力の育成	一学年	<p>音楽 育てたい生徒像</p> <p>① 音楽の構成要素・表現要素の働きを知覚し、かつ自分の考えと関わらせて意欲的に表現をしようとする。</p> <p>② 音楽経験や生活経験から得た音楽の諸要素に関心をもつことが出来る。 ・我が国の郷土の伝統音楽をはじめ世界の諸民族の様々な音楽の特徴に関心をもち思考力や判断力を高めることに意欲的である。</p> <p>③ 自分の表現や他者の表現の違いに関心をもち、発想や表現の発想を認め合う態度をもっている。</p>
	二学年	<p>音楽 育てたい生徒像</p> <p>① 音楽の構成要素・表現要素の働きを知覚し、かつ自分の考えと関わらせて感じ取り表現を工夫しようとする。</p> <p>② 音楽経験や生活経験から得た音楽の諸要素に関心をもち、表現効果を工夫することが出来る。 ・我が国の郷土の伝統音楽をはじめ世界の諸民族の様々な音楽の特徴を知覚することで、思考力や判断力を高める。</p> <p>③ 自分の表現や他者の表現の違いに関心をもち、発想や表現の違いを感じ取り認め合う態度をもっている。</p>
	三学年	<p>音楽 育てたい生徒像</p> <p>① 音楽の構成要素・表現要素の働きを知覚し、かつ自分の考えと関わらせて感じ取り、その場にふさわしい表現を工夫することが出来る。</p> <p>② 音楽経験や生活経験から得た音楽の諸要素に関心をもち、表現効果を工夫し、より高度な表現活動を行うことが出来る。 ・我が国の郷土の伝統音楽をはじめ世界の諸民族の様々な音楽の特徴を知覚することで、思考力や判断力を高める。</p> <p>③ 自分の表現や他者の表現の違いに関心をもち、発想や表現の違いを感じ取り、さらに自分の表現を工夫することが出来る。</p>

自ら表現し合い、学びを深めていく図画工作科の指導の工夫	低学年	<p>図工 育てたい児童像</p> <p>① 感覚を使ったり発見したりする楽しさを味わいながら自分の思いをもち、試したり関わったりしながら自ら発想を広げ、色や形に表現することができる。</p> <p>② 体全体の感覚や技能などを使える造形遊びを様々な方法で行う。その中で自分のやりたいことを考えたり、試したりして、自分なりに「できた！」やりとげたという充実感を味わう経験を重ねる。</p>
	中学年	<p>図工 育てたい児童像</p> <p>① 感覚を使ったり発見したりする楽しさを味わいながら自分の思いをもち、試したり関わったりしながら自ら発想を広げ、色や形に表現することができる。</p> <p>② 様々な道具や材料、技法に出合い、一方通行的に完成を目指すのではなく十分にその特性を味わい、試すようにする。その事で、自分の思いを実現するための方法を自分で選んでいけるようにする。</p>
	高学年	<p>図工 育てたい児童像</p> <p>① 感覚を使ったり発見したりする楽しさを味わいながら自分の思いをもち、試したり関わったりしながら自ら発想を広げ、色や形に表現することができる。</p> <p>② 中学年までの技能を繰り返すことで、表現に生かせるようにしたり鑑賞を生かしたりして、表現を広げながら自分の作りたいもののテーマなどを考える。作りあげる充実感と喜びを味わいやり遂げる力をつける。</p>
自分の考えを論理的（思考力・判断力）に表現する力の育成	一学年	<p>美術 育てたい生徒像</p> <p>計画性をもって作品制作を進め、感性や個性を生かし、作品に表現できる。</p> <p>① 自分の感性を生かしてデザイン、木彫の発想、構想ができる。</p> <p>② 作品制作で計画性を持って制作を進めることができる。</p> <p>③ 安全に配慮しながら用具を的確に使う。</p> <p>④ 作品を相互鑑賞し、作品の美しさや良さを感じ取り、言葉や文章で表現できる。いじめや不登校防止につながる、鑑賞を行う。</p>
	二学年	<p>美術 育てたい生徒像</p> <p>計画性をもって作品制作を進め、感性や個性を生かし、作品に表現できる。</p> <p>① 自分の感性や個性を生かして絵画、工芸の発想、構想ができる。</p> <p>② 作品制作で計画性をもって制作を進め、時間配分を自分で調整しながら制作を進めることができる。</p> <p>③ 安全に配慮しながら用具を的確に使い、作品に合った技法を使い分けることができる。</p> <p>④ 作品を相互鑑賞し、作品の美しさや良さを感じ取り、言葉や文章で表現できる。いじめや不登校防止につながる、鑑賞を行う。</p>
	三学年	<p>美術 育てたい生徒像</p> <p>計画性をもって作品制作を進め、感性や個性を生かし、作品に表現できる。</p> <p>① 自分の感性や個性を生かして絵画、デザイン、工芸の発想、構想ができる。</p> <p>② 他者が鑑賞することを考慮した作品の発想、構想ができる。</p> <p>③ 作品制作で計画性をもって制作を進め、時間配分を自分で調整しながら制作を進めることができる。</p> <p>④ 安全に配慮しながら用具を的確に使い、作品に合った技法を使い分けることができる。</p> <p>⑤ 作品を相互鑑賞し、作品の美しさやよさを感じ取り、言葉や文章で表現できる。いじめや不登校防止につながる、鑑賞を行う。</p>

自ら表現し合い、学びを深めていく図画工作科の指導の工夫	低学年	<p>図工 育てたい児童像</p> <p>① 感覚を使ったり発見したりする楽しさを味わいながら自分の思いをもち、試したり関わったりしながら自ら発想を広げ、色や形に表現することができる。</p> <p>② 体全体の感覚や技能などをつかえる造形遊びを様々な方法でやる。その中で自分のやりたいことを考えたり、試したりして、自分なりに「できた！」やりとげたという充実感を味わう経験を重ねる。</p>
	中学年	<p>図工 育てたい児童像</p> <p>① 感覚を使ったり発見したりする楽しさを味わいながら自分の思いをもち、試したり関わったりしながら自ら発想を広げ、色や形に表現することができる。</p> <p>② 様々な道具や材料、技法に出合い、一方通行的に完成を目指すのではなく十分にその特性を味わい、試すようにする。その事で、自分の思いを実現するための方法を自分で選んでいけるようにする。</p>
	高学年	<p>図工 育てたい児童像</p> <p>① 感覚を使ったり発見したりする楽しさを味わいながら自分の思いをもち、試したり関わったりしながら自ら発想を広げ、色や形に表現することができる。</p> <p>② 中学年までの技能を繰り返すことで、表現に生かせるようにしたり鑑賞を生かしたりして、表現を広げながら、自分の作りたいもののテーマなどを考える。作りあげる充実感と喜びを味わいやり遂げる力をつける。</p>
自分の考えを論理的（思考力・判断力）に表現する力の育成	一学年	<p>技術 育てたい生徒像</p> <p>① 木材加工・生物育成の基本的な技能・知識を身に付ける。</p> <p>② 自分の感性を生かしてデザイン、構想ができる。</p> <p>③ 作品制作で計画性を持って作業を進めることができる。</p> <p>④ 安全に配慮しながら、用具を的確に使う。</p> <p>⑤ 作品を相互鑑賞し、課題や技能改善について生徒相互で助言や評価をし合う。</p>
	二学年	<p>技術 育てたい生徒像</p> <p>① 金属加工・コンピュータの基本的な技能・知識を身に付ける。</p> <p>② 自分の感性を生かしてデザイン、構想ができる。</p> <p>③ 作品制作で計画性を持って作業を進めることができる。</p> <p>④ 安全に配慮しながら、用具を的確に使う。</p> <p>⑤ 作品を相互鑑賞し、課題や技能改善について生徒相互で助言や評価をし合う。</p>
	三学年	<p>技術 育てたい生徒像</p> <p>① エネルギー変換の基本的な技能・知識を身に付ける。</p> <p>② 自分の感性を生かしてデザイン、構想ができる。</p> <p>③ 作品制作で計画性を持って作業を進めることができる。</p> <p>④ 安全に配慮しながら、用具を的確に使う。</p> <p>⑤ 作品を相互鑑賞し、課題や技能改善について生徒相互で助言や評価をし合う。</p>

自ら表現し合い、学びを深めていく体育科の指導の工夫	低学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種の運動遊びを通して運動の楽しさに触れ、行い方を知り、基本的な動きを身に付ける。 ・ 運動の特性や魅力をしっかりと感じとり、運動への肯定的な態度を育てる。 ○ 進んで自分達の活動の仕方を工夫したり、考えたりする。 ○ 各種の運動遊びに進んで取り組む中で、体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付ける。 ・ きまりを守って運動する。 ・ 関連の深い運動の楽しさや動きを意図的に、教師主導で上げられるように工夫する。 ・ 裾野の広い、様々な運動経験を積ませる。
	中学年	<p>体育 育てたい児童像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方について理解するとともに進んで運動に取り組み、活動を工夫し、運動を楽しむ。 ・ 児童が工夫した動きや行い方などをお互いが評価し合える工夫をする。 ○ 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守ったり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりして、最後まで努力して運動する。 ・ 望ましい学習集団を作り学習を進める。 ・ 約束事を決め、課題をもって運動に取り組む。 <p>保健 身近な生活において、健康で安全な生活や体の発育・発達についての資質、能力を育てる。</p>
	高学年	<p>体育 育てたい児童像</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己の課題に向け、その解決の仕方を工夫できるようにする。 ・ 自己肯定感が高まる課題をやり遂げる。 ・ 運動の楽しさや喜びを味わう。 ・ 練習の仕方や運動の場を工夫して技能を高めるとともに、自ら課題に取り組む。 ○ 自分で考えたことについて、紙面を通して仲間に伝える。 ・ 学習集団の中で役割に応じた責任を果たせるようにする。 ○ 各種の運動に積極的に取り組む。 ・ 約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取り組みを認めたり、場や用具の安全に留意したりして最善を尽くして運動する態度を育む。 <p>保健 心の健康やけがの防止、病気の予防について理解し、健康で安全な生活を営むための資質、能力を育てる。</p>
自分の考えを論理的（思考力・判断力）に表	一学年	<p>保健体育 育てたい生徒像</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 基本的な動きや効率のよい動きを身に付ける。 ② 規律を守り、場に応じた行動をとれるようにする。 ③ 板書したことを正確に写す。 ④ 各単元の課題や技能改善について生徒相互で助言や評価をし合う。
	二学年	<p>保健体育 育てたい生徒像</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 基本的な動きや効率のよい動きを身に付けると同時に、よりよくできるようにする。 ② 規律を守り、場に応じた行動をとれるようにする。 ③ 板書したことを正確に写し、要点等を自分の言葉で表現する。 ④ 自分の考えたことや意見を整理し、まとめる。 ⑤ 各単元の課題や技能改善について生徒相互で助言や評価をし合う。
	三学年	<p>保健体育 育てたい生徒像</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 各種目特有の技能を身に付ける。 ② 規律を守り、場に応じた行動をとれるようにする。 ③ 板書したことを正確に写し、要点等を自分の言葉で表現する。 ④ 自分の考えたことや意見を整理し、まとめる。 ⑤ 各単元の課題や技能改善について生徒相互で助言や評価をし合う。

自ら表現し合い、学びを深めていく外国語科の指導の工夫	低学年	<p>外国語活動 育てたい児童像</p> <p>外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、外国語の音声や基本的な表現に関心をもつ児童。</p> <p>① 英語で自分の名前を言ったり、あいさつをしたりできる。 ② 動物や食べ物、色、形などの簡単なものを表す表現を、ALTの言う英語の発音を聞いて一緒に発音することができる。</p>
	中学年	<p>外国語 育てたい児童像</p> <p>外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る児童。</p> <p>① 動作や遊び、教科、文房具などの簡単なものや身近な出来事などの表現を英語で言うことを楽しむことができる。 ② 日課についての英語を聞くことで、音声やリズムなどの違いに気付くことができる。</p>
	高学年	<p>外国語 育てたい児童像</p> <p>外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る児童。</p> <p>① 自己紹介に関する表現や好きなこと、将来の夢などの表現を英語で言うことができる。 ② 学校行事や地域の施設、世界の国々などについて、簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読むことができる。 ③ 活字体の文字で自分の名前を書いたり、その綴りを言ったりできる。</p>
自分の考えを論理的（思考力・判断力）に表現する力の育	一学年	<p>英語 育てたい生徒像</p> <p>① 初歩的な語彙や表現の英語を用いて、自己紹介や自分の一日の生活など身近な場面で情報や考えなどを伝え合うことができる。 ② 短い会話や文章を聞き取ったり、読み取ったりすることができる。</p>
	二学年	<p>英語 育てたい生徒像</p> <p>① 英語を用いて将来の夢や自分の街を紹介するなど様々な場面で情報や考えなどを伝え合うことができる。 ② 特定のテーマについての英語を聞いたり読んだりして、概要や要点を理解することができる。</p>
	三学年	<p>英語 育てたい生徒像</p> <p>① 英語を用いて、日本文化の紹介や、中学校生活についてのスピーチなど場面に応じて適切に情報や勸化などを伝え合うことができる。 ② 様々な場面でのまとまった文を聞いて、概要や話し手の意向を正確に聞き取ったり、物語や説明文などを読んで、自分の感想や意見を述べられるようにその内容や大切な部分を整理したりしながら正確に読むことができる。</p>

